

32人が親睦深める

青森南高東京支部

青森南高校同窓会東京支部は14日、東京のアルカディア市ヶ谷で総会と懇親会を開き、新卒者を含む32人が親睦を深めた。

永田茂穂支部長（3回生）は「休会もあったが、12回目を迎えた。アットホームな会にしたい。仲良く楽しみましよう」とあいさつ。久保田千夏校長が、昨年の50周年記念式典のお礼を述べた後、本年度から開講し

記念写真に納まる出席者たち



ている県内初の国際バカロレアコースや、同校放送部

が県放送コンテストで創部初の総合1位となったことなど、文武両道の活動状況を紹介した。

地元から駆け付けた来賓の成田正人同窓会長（3回生）、関野准一後援会理事長（5回生）らも祝辞を述べた。出席した新卒生9人も抱負や近況を語り、先輩たちから盛大な拍手を受けた。新卒生で普通科48回生の里村陽哉さん（駒大）、田村煌さん（日大）、柳澤倫さん（駒大）らは「学内で津軽弁で話すと注目される」と笑って語った。

この後、参加者が「おーややや」の歌詞で知られる校歌を歌い、大いに盛り上がった。最後に、荒井清造名誉支部長（1回生）のあいさつで締めくくり、再会を誓った。（鎌田伸寿）

東奥日報 2025年（令和7年）6月17日（火）掲載

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。